

大震災・復興ニュース（第21報）

平成23年9月9日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年9月5日
- 2 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼による）
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は採取日における値を示す。

水産物（採取日 平成23年8月24～9月4日）

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
ウバガイ（ホッキガイ）	閑上地先	不検出	4
アカガイ	荒浜沖	不検出	4
メバチマグロ	太平洋（宮城沖）	不検出	不検出
アサリ	名取川河口	不検出	7

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

ノリ養殖に向けて水深棒の準備や塩素調査を実施

今漁期のノリ養殖に向け、9月8日、県漁協ノリ部会がアジア航測の協力で馬放島近辺に水深棒を設置した。

水深棒とは、雑藻防除や芽を強くする目的でノリ網を一定期間海の上に干上がらせるため、網を設置するための潮位の参考とする基準の棒のことである。

また、9月7日に宮城県水産技術総合センターが松島湾周辺の海水中の残留塩素濃度を測定したところ、どの地点でも0.00mg/lであり、9月8日に開かれた本所ノリ部会で報告された。



水深棒設置作業

ノリ養殖通報を発行

今週より宮城県ノリ養殖安定化対策本部による調査が始まり、調査結果は「ノリ養殖通報」として採苗・育苗期は概ね1週間に2回、その後は1週間に1回の頻度で情報提供される予定である。

第1報は本日9月9日発行の予定であり、下記ホームページで確認できる。

・HPアドレス：<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>

また、右のQRコードを携帯電話のカメラ機能（バーコードリーダー等）で撮影することにより、携帯ホームページアドレスを簡単に取得することができる。

・携帯HPアドレス：<http://space.geocities.jp/jkshx806/info/gyogyoushi.html>



<トピックス>

ノリの陸上採苗が開始される

9月5日から県漁協浦戸支所ノリ陸上採苗施設での採苗作業が始まった。

陸上採苗はノリの糸状体が入った水槽内でノリ網を回転させて種苗を網に付着させるもので、同支所や民間業者による陸上採苗が行われる一方、松島湾内各地では野外採苗も予定されている。

浦戸支所の陸上採苗は12日まで実施される予定であり、種付けされた6千枚のノリ網は9月後半以降の張り込みまで冷凍保管される。

なお、当管内では宮戸、宮戸西部、浦戸、七ヶ浜各支所でノリ養殖が行われる見通しである。



浦戸支所のノリ陸上採苗



同支所のカキ殻糸状体培養

2ヶ月ぶりに沖合底曳船が塩釜漁港に水揚げ
台風12号の時化で延期されていた沖合底曳船による水揚げが9月7日、ほぼ2ヶ月ぶりに行われた。

7日に水揚げしたのは、第32竜丸、第78竜丸、第38幸洋丸の3隻で、水揚げのほとんどはスルメイカ、数量は約36tで地元買受業者に約343万円で販売された。



水揚げされたスルメイカ